

# 物價を廉く生活を樂に

オプアーツ 星

物價騰貴は此の不景氣の折衝一般國民生活に取つて誠に遺憾の事に思ふのであるが、其の物價騰貴といふのは時勢の進運上誠に止むを得ない現象であつて何人もこれを急にどうするといふ名案も出ないであらう。唯だ漫然として物價を廉くせよといふことは賃銀を廉くせよといふ意味になるのである。けれども其の賃銀といふのは、もともと物價騰貴に準じて與へたものであるとしても、一旦與へたものは何かの萬止むを得ない事情がない限り、それを下げるといふ譯には行かないし、又快く之れに應ずる者もないであらう。これは出来ない相談といふものだ。それでは、賃銀も下げないで以てど

うして物價を廉くし、國民生活の安定をも圖る様にすると云へば、それは一般國民が能率を發揮するといふことで難なく解決される。能率を發揮せよと云つたからとて、唯だ無暗に「働け／＼」といふのは大いに意味が興ふ。働くことに一切の無駄や徒勞な事を省いて効果の多いやうに働けといふのである。試みにこれを家庭生活振りに就いて見ても、日本の主婦や女中は朝から晩まで殆んど書籍を讀む暇もない位のセカ／＼して働いてゐるやうだが、どうも無駄働きが多いやうに見える。もう少し學問上からでも常識上からでも工夫を凝して仕事がいよいよやうに臺所を改良し又洗濯

世界の發明王として知られてゐるエヂソン翁は千八百四十七年二月十一日を以て米國オハイオ州のミルランに生れた、今年の二月十一日は恰かも七十五回の誕辰に當る



の姿を得べく列車に乗り込んで新聞菓子等の販賣をなし、暇さへあれば讀書實踐に耽り、而して一事物の研究に熱中するときは、數日間眠らず之に従事し、十五年間毎日平均二十時間業務に従ふたといふ。重なる發明品は蓄音器、白熱電燈、活動寫眞、電話機及多重電信方式等である。

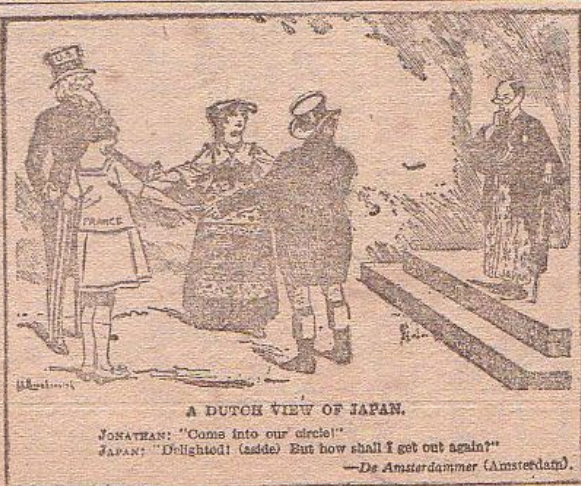
煮焚工合をも研究し、子供もおぶい詰めにしないので好きな玩具のやうなものでも與へて遊ばせるといふ風にしたらば、そんな忙しうい思ひをしないでも善く仕事は片づき、其暇でいどころ好きな事でも出来るといふ譯の者である。更に會社、商店、工場其の他の作業上に於ても、便宜簡略を主として合理的に組織體制を改め、成る可く人手を省いて機械に替へ、機械も亦常に優良なものを使ふことに心掛けたならば大いに能率は上り、これに要した経費の如きはいつの間にか償ひ得て餘りがあるといふ結果を見るであらう。尤も斯くの如き能率的の働き方をしやうとするには先づ規律を立てるといふことが必要で、仕事にだらしがらないといふことは何よりの禁物である。

次に能率問題を自から學問上や實驗上から常に研究を怠らないやうに心掛け、又他の優れた行方を見たら少々々位の経費は惜まらずに、直ちに之れを實行して見るといふだけの心意氣も無ければならぬ。

人間の能率といふものは人智の發達に隨つて殆んど無際限に開展せられる故に自分でいへば今日二倍も三倍もへて改良して行けば今日の二倍も三倍もの成績をも見るであらう。斯くの如く各人の生産能率が上れば自然に物價は廉くなり、そして又輸入

超過をも防ぐことが出来、家は富み國は榮え、多く人生を樂しむことも出来るのである。

日本に對する和蘭人の觀察  
英米人「どうですか、仲入入りなすつては」  
日本人「エ、這入り度いには這入り度いですが」  
れど出る時の事を考へますと……へエ」



A DUTCH VIEW OF JAPAN.  
JONATHAN: "Comes into our circle!"  
JAPAN: "Delighted! (sad) But how shall I get out again?"  
—De Amsterdamer (Amsterdam).

記者註、日本人は四國協定に入り度いには入り度いだらうが、戰爭を度い時に困るといふので躊躇してゐるだらうと(マムステル)

監獄の囚人労働時間は、一日平均九時間五分であつたのが今では十二時間半に延長することに司法省で訓命した。これで人も苦勞が増した譯だが當局側では囚人が世間へ出てから社會生存に堪え得る修養だと云つてゐる。又他、來外、出作業は茶褐色の獄衣でのつたが、儂りに立つと云ふので外出作業服は綿の獄衣にした。